



उत्तर प्रदेश
食品加工産業政策-2017

DISTINATION UTTAR PRADESH

Invest in BIDA



ウツタルプラデーシュ州
食品加工産業政策-2017



園芸・食品加工学科

ウツタル・プラデーシュ州

ウツタル・ブラデーシュ州政府
食品加工課
番号-33/2017/1105/58-2-2017-600(7)/2017
ラクナウ: 日付: 2017 年 10 月 27 日

通知

第 162 条に基づく行政権を行使する名誉知事

インド憲法、ウツタルブラデーシュ州食品加工法を公布
産業政策-2017。

2. ウツタル・ブラデーシュ州食品加工産業政策-2017は存続する
この通知が発行された日から 5 年間有効です。

スディール・ガーク
首席秘書官

Number-33/2017/1105(1)/58-2-2017. 日付は上記の通り・情報と必要な措置の

ために、コピーを以下に転送します: 1. 2.

アラハバード州ウツタルブラデーシュ州会計長官。
インド・ニューデリー政府食品加工産業省長官。

ウツタル・ブラデーシュ州政府首席秘書官付参謀。

- 3.4. ウツタル ブラデーシュ州政府 農業生産委員 ウツタル ブラデーシュ州政府の追加首席秘書官/首席秘書官/書記全員。

6. ニューデリー州ウツタルブラデーシュ州常駐委員。
ウツタル・ブラデーシュ州のすべての地方委員会/地方判事。 7.8.
ウツタル ブラデーシュ州事務局機密セクション 1。 9.
財務 (支出管理)セクション-1.

10. ウツタル・ブラデーシュ州政府社会福祉局予算室。 11.
ウツタル・ブラデーシュ州の上級財務官/財務官の皆様。 12.
ラクナウ州ウツタル・ブラデーシュ州園芸・食品加工局ディレクター。

13. ラクナウ州ウツタル・ブラデーシュ州情報広報局ディレクター。

14. UP州園芸・食品加工部財務管理者
ラクナウ。

15. ガードファイル

命令により
シャキール・アーメド・シディキ
次官

索引

S.No.	説明	ページ番号
1.	背景ビジョンと	3
2.	政策ビジョンの実施 目的 食品加工の優先分野でカ	4
2.1	バーされ	4
2.2	る政策分野	4
2.3	の実施 インフラ施設の開発 食品加工ゾ	4
3.	ーンの特典 食品加工パーク、メガフードパーク、コール	5
4.	ドチェーン施設の開	6
4.1	発 食品のセットアップに適した雰囲気提供加工産	6
4.2	業 4.5 手続きの簡素化 5.	6
4.3		6
4.4		6-7
		7
	設備投資の促進 6 .	8
	雇用世代 7 .	8
	財政的補助金と譲歩 7.1 食品加工ユニットの設	9
立 7.1.1	設備投資補助金 7.1.2 利子補助金 7.2 冷凍車両および	9
	移動式予冷パンの購入に対する利子補助金 食品加工	9
	スキル開発の学位/ディプロマ/認定	10
	コースを実施するためのインフラの構築食品加工 食品加工の促進活動 標準化促進のための規定 特許/意	10
	匠登録の規定 市場	
7.3	開発およびブランド促進のための規定 食品加工産業を設立するための融資可能な プロジェクトの準備に対する支援。	10
7.4		10-11
7.5		11
7.6		11
7.7		11
7.8		12
7.9		12
	その他の施設の体制	13
8.9.	強化と有効活用 既存の機関	13
10.	政策の実施と監視 10.1 州レベルの権限を与えられた委	14
員会 10.2	部門レベルの監視委員会 10.3 地区レベルのプロジェ	14
クト実施委員会 10.4	ノード局/ノード庁 11.	14
		14
	その他	15

1. 背景

ウツタルプラデーシュ州の園芸および食品加工セクターは広大な設備投資、雇用創出、地方の収入増加の見通し。インドでは、食用穀物、園芸作物、牛乳の生産に関する限り、ウツタルプラデーシュ州は重要な位置を占めています。巨大な市場、低い生産コスト、人材、そして原料の十分な入手可能性を考慮して。同州には園芸や食品加工をベースとした産業を立ち上げる可能性が十分にある。そのため、ウツタルプラデーシュ州政府は同州をフードパーク州として発展させる決意を固めている。

ウツタルプラデーシュ州のさまざまな農業気候帯で食糧穀物、園芸作物、牛乳、その他の農作物が豊富に生産されていることを考慮すると、現在、加工食品を加工食品に加工して一般の人々が入手できるようにすることがますます重要になっています。余剰生産物を付加価値チェーンに組み込む。比較的容易に入手可能な労働力、加工に値する大量の農産物、州内での雇用創出の計り知れない可能性を背景に、綿密に計画された食品開発を拡大するには、ウツタルプラデーシュ州食品加工政策-2017が必要である。

州内の加工産業。

1.1 加工製品の需要は一貫して増加している

これは、急速な都市化、人口増加、少人数家族、世帯収入の増加、多忙なライフスタイルによる食習慣の変化の結果です。

1.2 ウツタルプラデーシュ州は、食品加工セクターの発展、このセクターへの資本投資、雇用の創出、すべての関係者の収入増加という刺激的な可能性に満ちています。

1.3 ウツタル・プラデーシュ州の産業投資と雇用の続編

促進政策 - 2017 年、ウツタルプラデーシュ州食品加工産業政策 - 2017 年は、食品加工産業の設立と発展を目的として公布されており、州内の現在の食品加工の機会をさらに拡大します。

2. ポリシーのビジョンと実行

さまざまな報告書やインド政府が実施した調査によると、インドでは付加価値と加工レベルの両方が他国に比べて相対的に低いことがわかっています。処理レベルは 10% です。

国、ウッタルプラデーシュ州では 06 パーセント。他の国ではその割合はさらに高くなります。インドとウッタルプラデーシュ州の食品加工部門では、設備投資を大々的に促進することが急務となっている。インド政府は、今後 5 年間で付加価値と加工レベルを最大 20% 達成することを目標としています。同レベルの達成も提案

ウッタルプラデーシュ州で。

2.1 ビジョン

ウッタルプラデーシュ州を食品加工分野の主導的な州として確立することで、州のバランスの取れた経済発展を確保し、すべての利害関係者に最大限の利益を提供する。

2.2 目的

ウッタルプラデーシュ州食品加工産業政策の主な目的 -

2017 年は生産者に対する農産物の公正かつ報酬の高い価格を確保し、生の農産物の価格に付加価値を与え、食品加工工場の設立を促進する。

消費者が競争力のある価格で加工食品を容易に入手できること、この分野の人材の能力を構築しスキルレベルを向上させるための新たな雇用機会の創出、さらに追加で必要な人材を利用できるようにすること。

2.3 ポリシーの実施

このポリシーは、その日から 5 年間有効です。

その通知。いずれかの段階で、何らかの対応が必要な状況が発生した場合、方針を修正する場合、名誉閣僚のみがかかる方針の修正を承認する権限を有するものとします。

3. 食品加工の対象となる分野

以下の産業が食品加工産業に含まれます。

- 果物や野菜、花、スパイス、薬用植物や芳香植物、キノコの加工。
- 食用穀物、豆類、油糧種子などの農産物を原料とした加工品。
- 粉ミルク、ベビーミルク食品、麦芽乳食品、コンデンスミルク、ギー、その他の乳製品、家禽と卵、肉と肉製品などの農産物ベースの製品の加工。
- 魚の加工。
- パン、油糧種子、食用食品、朝食用食品、菓子（ココナッツ加工およびチョコレート製造を含む）、麦芽エキス、タンパク質分離物、タンパク質が豊富な食品、離乳食および押出食品に関連する加工。
- 食品加工業界向けの特殊な包装。
- 冷凍車両/移動式予冷バン。
- 収穫後管理と農産物加工クラスターに基づいたインフラストラクチャーの構築。

4. 重点分野

4.1 インフラ施設の整備

食品加工産業の成長には品質が必要です

州内のインフラ施設。2017年の産業投資・雇用促進政策に基づいて提供されるインフラ設備は、州の食品加工産業にも同様に適用されます。

4.2 食品加工ゾーンの特定

食品加工ゾーンは、入手可能性と状況に基づいて特定されます。

州のさまざまな地区で食品加工産業を設立するための地元の原材料の適合性。これらのゾーンには適切な食品加工産業を設立することが優先されます。さらに、これらのゾーンにはフードパークやメガフードパークも設立されます。農産物の農家への報酬還元を確実にすることを目的として、ウツタル・ブラデーシュ州をフードパーク州として発展させる取り組みが行われる予定である。

4.3 食品加工パーク、メガフードパーク、コールドの開発

チェーン施設

ゾーンに応じたインフラ施設の整備を推進

賢明なクラスターとして、食品加工パークが特定ゾーンに設立されます。

ウツタルブラデーシュ州産業開発公社との協力

(UPSIDC) と民間部門。これらの公園には、梱包、輸出のための施設が備わります。

そして研究などのインフラ整備に重点が置かれます。

州内の適切な地域にあるメガフードパークとクールなチェーン。

食品加工部門の巨大プロジェクトは、50

10億ドル以上が投資されています。

4.4 食品加工のセットアップに適した雰囲気を提供する

業界

(1) 州政府は、基本的な条件を満たすために誠実に努力する。

食品加工業を設立するための起業家の要件

州内の産業。

(2) ウッタラプラデーシュ州の下で規則と手続きが簡素化されました

産業投資及び雇用促進政策-2017、労働、エネルギー、環境、商業税に関する規定、省

農業マーケティングおよび農業貿易およびその他の関連部門は、この政策に基づいて州内に
設立される食品加工産業部門にも適用されます。

(3) 電子ガバナンスのもと、食品加工局の情報化

部門が強化され、インターネットを通じて情報交換が容易になり、すべての情報が一つ屋根
の下で起業家に提供できるようになります。これらのセンターは、前方と後方の連携を強化す
るための橋として機能します。

4.5 手続きの簡素化

(1) ウッタラプラデーシュ州園芸・食品加工局は、政策に基づいて利用可能となる施設の導入手順の簡素
化を確保する。

(2) 園芸・食品加工部門は、投資家の便宜を図るため、ウドヨグ・バンドウのパターンに基づいたシングル
・ウィンドウ・システムを進化させます。さらに、食品加工産業の設立に利用可能な施設に関する
情報を投資家に提供するための取り決めも、部門および地区レベルで行われる予定です。

5. 設備投資の促進

州都における食品加工産業の設立のため

投資は補助金と譲歩のパッケージを通じて誘致されるだろう
中央政府および州政府のさまざまな制度に基づいて利用可能です。

また、本ポリシーにも基づきます。州内にすでに存在する食品加工産業は、さまざまな計画を通じて技術の近代化/アップグレードと利用可能な能力の拡大が奨励されます。

6. 雇用の創出

失業者の技術的能力を向上させ、設備投資とユニットの設立を促進することにより、州内の食品加工セクターで雇用の機会を創出する取り組みが行われる予定である。大規模な雇用創出のため、農村部では設備の整った研修インフラが管理され、コテージとして食品加工活動が展開される。

業界とマーケティングはグループ/FPO/協会を通じて行われます。

食品加工の研修プログラムは生計に結びつく
ミッションとスキル開発プログラム。

7. 財政的助成金と譲歩

州政府は、食品加工セクターへの投資を誘致し、産業の成長と競争力を維持するために、一連の譲歩、財政援助、補助金を含む適切な措置を講じる予定である。

このポリシーに基づいて設立されたユニットには、次の譲歩と補助金が利用可能です:-

7.1. 食品加工ユニットのセットアップ:

7.1.1 設備投資補助金:

(A) 州内の食品加工施設の設立、拡張、近代化/段階的改善に関して、工場機械および技術的土木工事にかかる支出の 25% に相当する補助金が、最大 200 億ルピーを条件として提供されます。すべての地区で 500 万ドル

州。

既知の資金源からの資金が利用可能な場合、
起業家にとって、融資の利用を強制されるものではありません。

(B) プラダン・マントリ・キサン・サンパダ・ヨジャナ・スキームに基づく (農業・海洋)

加工および開発農産加工クラスター) 政府の
インドでは、青果部門の新規設立/拡張および近代化のために、プラント機械および技術的土木工事の
費用の 10% の追加資本投資補助金が提供される予定です。

(C) ウッタル・プラデーシュ州で認可されたメガ・フード・パーク・プロジェクト

Pradhan Mantri Kisan Sampada Yojana、インド政府、最低資本投資額は Rs. プロジェクト費用の
10% の追加補助金として 500 億以上が提供されます。

州政府。

ただし、第 7.1.1 項 (A) に基づいて提供される施設は、
これらの提案はパラグラフ 7.1.1 (B および C) に規定されています。

7.1.2 利子補助金: (A) 小規模

模および小規模の食品加工産業を設立するための工場機械、技術的土木工事およびスペアパーツへの支出を満たすために銀行/金融機関から受け取ったローンに発生する利率の1セントパーセント最長5年間払い戻されます。

(B) 州内に設立された他の食品加工施設には、

銀行/金融機関への融資に対して発生した利息の額

プラントの機械、技術的な土木工事、およびスペアパーツへの支出を、05年間で07パーセントの割合で賄うための機関。

その上限はRsとなります。ユニットあたり年間5000万。

ただし、第7.1.1項で提案されている資本補助金の場合および第7.1.2項で提案されている銀行/金融機関からの融資では、利子補助金を含む最大額は1億ルピーを超えないものとします。05年間で2億5000万。

7.2 冷凍車両および移動体の購入に対する利子補助金

予冷バン

リーファー車両の購入に対して、

銀行/金融機関からのローンに対して発生する利息は、次の方法で支払われます。

07パーセントの金利または実際の金利のいずれか低い方の期間、05年。その上限はRsとなります。50万円。

7.3 食品加工のコース インフラストラクチャー 指揮のための学位/ディプロマ

コース作成/認定: 上限 Rs までの助成金食品加工

の学位/卒業証書/認定コースを実施するために大学/政府機関に近代的な図書館、パイロットプラント、実験設備などのインフラ施設にかかる支出として750万が提供される可能性がある

テクノロジー。

7.4 食品加工におけるスキル開発: 7.4.1 起業家精神開

発プログラムは、

中央および州の研究所、研究開発機関

産業確立のための起業家/参加者の研修のための政府。食品加工部門を設立するための選ばれた起業家への実践的なトレーニングは、実際のトレーニング費用で国内の主要機関で実施されます。

7.4.2 技術移転は、3 日間の食品加工を組織することによって行われます。

州のニヤヤ・パンチャヤットでトレーニング/キャンプ。

7.4.3 ニヤヤ・パンチャヤットでの訓練後、さらなる訓練を希望する参加者は、政府の食品加工訓練センターでの

1 か月間にわたる地区レベルの訓練に選ばれます。農村地域における小規模食品加工施設の設置は、新たなスキームを通じて促進される。

この目的のために、上限 Rs の範囲内で、単価の 50% の補助金が支給されます。

1 ユニットあたり 10 万円が提供されます。

7.4.4 政府の食品科学トレーニングセンターが強化され、

食品加工のセンター・オブ・エクセレンスとして開発されました。これらのセンターは、必要に応じて、PPP モデルで実行できます。

7.5 食品加工促進施設:

セミナー/シンポジウム/バイヤーセラーカンファレンスなどが開催されます。

情報を広めるために州/地方/地区/ブロックレベルでの活動を行う

起業家/園芸家/若者向けの分野に関連する制度/施設/利権や新技術について。

7.6 標準化の推進:

国際的に認められた品質基準、ISO:14001、ISO:2200、HACCP、植物検疫認証などの環境認証および認定に基づく製品の標準化を目的として、州政府は最高額の範囲内で手数料の 50 パーセントを補償します。

Rsの150万。

7.7 特許/意匠登録に関する規定:

食品加工部門が認可業者に支払う手数料の 75%

組織/機関には最大 Rs が課せられます。150万になります

食品加工業界の特許/意匠登録に対する一時的なサポートとして補助金として払い戻されます。

7.8 マーケティング開発およびブランドプロモーションに関する規定:

マーケティングには次の特典と補助金が利用可能です
に設立された食品加工部門への開発とブランドのプロモーション
州:

(1) 補助金の上限は単価の50%です。

Rs.他国で販売するための加工食品サンプルの輸送のために、受益者1人当たり
20万ルピーが提供される。この補助金は1つの国に対して、1つの単位に対して
1つのサンプルのみが認められます。

(2) 州から他国への加工食品の輸出を促進する観点から、海港/空港までの製品の実際の輸送コストの25%を
最高1億ルピーまで負担する。受益者には年間10万円が3年間支給される。

(3) 同州から他国への加工食品の輸出を促進する観点から、製品のFOB価格の20%を上限Rsの対象とす
る。年間200万円が3年間支給される。

7.9 資金調達可能なプロジェクトの設定準備に向けた支援

食品加工業界のトップ:

起業家が融資可能となる準備をするための支援が提供されます

食品加工および関連産業の設立のためのプロジェクト。50%

実際の支出の詳細プロジェクト報告書(DPR)の作成には、最大200億ルピーまでの援助が認められます。受益者
1人当たり50万円。

8. その他の施設

ウツタル・ブラデーシュ州産業で強調されている関連するすべての譲歩

投資および雇用促進政策-2017 は、随時規定されるとおり、食品加工産業にも適用される予定です。これらの施設は、関係部署から提供されます。

9. 組織体制の強化と人材の有効活用 機関

9.1 園芸・食品加工部門は、食品加工センター/地区および部門事務所を近代化および強化します。

9.2 園芸・食品加工総局は、政策の実施と監視を担当する機関となります。別のセルは、

総局で作成されました。

9.3 ノード機関はノード機関としても機能します。ノード機関はまた、さまざまな情報源と調整します。インド政府、APEDA、NHB、農業、MIDH、スキル開発ミッション、AYUSH およびその他の機関が支援し、起業家がこれらの機関から提供される支援を受けるのを支援します。

10. ポリシーの実施と監視

10.1 州レベルの権限を与えられた委員会:

州レベルの権限を与えられた委員会が以下に設立されます。

政策の条項の実施と監視のために長官から委任された役人の議長。さまざまな部門の首席秘書官/秘書官がそのメンバーとなります。食品加工局の首席書記/書記が委員会の調整書記となります。業界団体の代表者は次のとおりです。

招待メンバー。

10.2 部門レベルの監視委員会 部門レベルでの方針の実施

と監視のために、長官の委員長の下に部門レベルの委員会が設置されます。地方判事、最高開発責任者および関連部門の役員が委員会のメンバーとなります。食品科学トレーニングセンターの校長/食品加工責任者は、食品科学トレーニングセンターの会員秘書になります。

委員会。

10.3 地区レベルのプロジェクト実施委員会

この方針に基づく設備投資の提案は実行されます

地区産業センターの地区マネージャーを通じて。地区治安判事が長を務める地区レベルの実施・監視委員会が組織され、関係部門の地区レベルの職員が委員となる。地区産業センターの地区マネージャーが会員幹事となります。地区園芸担当官および食品加工担当官

職権上の委員となる。

10.4 結節部門/結節庁

- (1) 園芸・食品加工部門がこの政策の実施と監視の結節点となる。
- (2) 園芸・食品加工総局は、この政策の実施と監視の結節点となる。

11. その他

ポリシーに基づいて申請しているユニット/機関がすでに受領している場合
他の機関またはインド政府からの補助金/援助、
ユニット/機関には、同じ責任者の下で以前に受け取った援助の額を、同じ責任者の下で認められる
援助の額から差し引くことにより、この方針に基づいて追加的に許容される援助が与えられるものと
する。

本ポリシーの第 7.1.1 条 (B および C) を除くその他の条項。

ユニット/機関は、政府からの補助金を無料で受け取ることができます。
インド、またはインドで規定されているもの以外の責任者の下にあるその他の制度/部門
この方針。

すべての関係部門は政府命令の発行を確実に行う
このポリシーをタイムリーに実施するためのガイドライン。

Disclaimer : 上記の文章が以下の翻訳であることをここに明らかにします。
ウットラルプラデーシュ州食品加工産業政策-2017 のオリジナルのヒンディー語版。
英語版とヒンディー語版の間に矛盾がある場合は、後者が優先されます。

は最終的かつ拘束力のあるものとします。

免責事項

この「ウットラル プラデーシュ州食品加工産業政策 2017 年」文書は、ヒンディー語以外のユーザー
を容易にし、より広範囲にリーチできるようにするために、純粋にオリジナルのヒンディー語
から翻訳されたものです。翻訳の正確性を確保するために最大限の注意が払わ
れていますが、ここに規定されている条項の解釈に相違がある場合には、官報に掲載された
「オリジナル」のヒンディー語版が優先されます。

ウットラル・プラデーシュ州園芸・食品加工局Udyan Bhawan, 2-Sapru Marg, Lucknow, Uttar
Pradesh 電話: 0522-4044414, 2200991 ウェブサイト:
www.uphorticulture.gov.in

電子メール: dirhorti@rediffmail.com, cmfpmup@gmail.com